

# 自然体験支援体験記

## ～ガサガサ探検&お魚ウォッチング～

今回、私は実習生として8月26日にトワイライトスクール(川中小)の児童11人を対象に行われた自然体験支援にスタッフとして参加しました。子ども達は「矢田川子どもの水辺」においてガサガサ調査とお魚ウォッチングを行い、矢田川での自然体験を通して川の生き物の多様性について学びました。



みんなで集合写真

### 行程

- 15:40 入水準備、水分補給
- 15:45 事務所挨拶、諸注意
- 15:50 ガサガサ探検(河川内で水生生物の捕獲)  
休憩(水分補給)
- 16:10 お魚ウォッチング・リリース
- 16:25 事務所挨拶(終了)
- 16:30 解散



### 「矢田川子どもの水辺」とは・・・?

ふれあい橋下流右岸、矢田川右岸2.3km付近にある親水スペース。地域の子供達に河川での自然体験に親んでもらうため、多自然川づくりの技術も取り入れ、生物多様性の維持に配慮しながら整備されています。



↑ 概略図

← 矢田川子どもの水辺 (写真右側)  
をふれあい橋から眺める

**では、実際の活動を見てみましょう！**

## ○ガサガサ探検

【内容】

スタッフと一緒にタモ網などを使って、水中や川岸にいる生物を採ります。

【ねらい】

川には魚以外にも様々な姿の生物が生息していることを理解させる。



何が採れたかな？



ふむふむ・・・

【内容】

ガサガサ探検で採れた生物を分類し、スタッフがその生態などを説明します。

【ねらい】

川にいる様々な生物の生態について理解させる。



わあ！ほんとだ！

水分補給で熱中症対策もばっちり！



コイだよ！すごい！



# “自然体験支援”の特色

## ①「矢田川子どもの水辺」での実施



街中にあるとは思えないほど豊かな生態を垣間見ることができる親水スペースで実施しているため自然の魅力や生き物の生命力を存分に感じることができます。

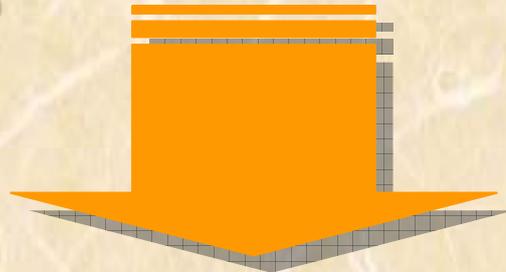


## ②専門のスタッフの同伴

生息している生き物についてわかりやすく子どもに説明します。水分補給も随時、子ども達に指示します。また、スタッフを配置するだけでなく、子どもが危険な場所にいかないように活動範囲を制限しています。

## ③共同作業

生き物を採り、観察するには一人では行えません。子ども同士の連携プレーが必要不可欠です。ガサガサ探検を通して子ども同士や親子だけでなく地域住民同士のつながりが生まれます。



**単なる川遊びで終わらせない総合的な学習を  
安心安全に行うことができる！**

～感想～

スタッフとして参加してみて子どもとの絡み方など、難しいことも多かったが、達成感があった。しかし、このようなイベントは子どもを飽きさないことが重要であるが、行政機関としてはただ子どもを喜ばすのではなく、河川環境の保護ひいては河川の重要性について理解させなくてはいけない。庄内川河川事務所としてはこのあたりが悩みのタネなのだろうと感じた。2011/08/29 実習生F

〈今回の実施データ〉

気温：32℃      pH:7.5      天候：晴れ  
水温：30.5℃      COD:11      透視度：89(cm)

採れた生物：オイカワ、モツゴ、コイ、フナ、メダカ、カダヤシ、ブルーギル、スジエビ、ヌマエビ、アメンボ、マツモムシ、ヤゴ、ミシシippアカミミガメ、オタマジャクシ、カマツカ、ヨシノボリ、ウキゴリ、ドジョウ